

RNC ニュース

優れた学校活動に贈られる～鶴尾小が「NITS 大賞」特別賞～

『お便り交換』について、1年前の実施時期からRNCさんには取材だけしていました。今回の放送は、当時子どもたちに手書きのお便りを書いている、1年生担任 藤原紘子先生の様子と、現在2年生になった子どもたちの様子や感想をつなげての編集でした。

本校で大切に考えている「全ての児童から目を離さない取り組み」が、高く評価されたことを伝える内容でした。



放送内容； 四国で初めての受賞です。コロナ禍の子どもたちを支えようと、去年、高松市の小学校が行った「お便り交換」が、優れた学校活動に贈られるNITS大賞で審査委員特別賞に輝きました。休校中の子ども達が担任の先生に宛てて書いた、直筆のメッセージ。高松市の鶴尾小学校で行われたお便り交換は、緊急事態宣言による休校措置が取られた去年4月から5月にかけて、全校児童と先生が、はがきを送りあい交流したものです。

教育現場での課題解決に取り組み、応募のあった全国216点の活動の中から審査委員特別賞に輝きました。休校中の子どもを誰一人取り残してはいけないと、先生が一人一人に手紙を書いて家まで届け、返事が来ない児童には電話をかけて話をしました。

感染拡大によりオンライン授業の必要性が高まる中、心をつないだ手紙のやり取り。全ての児童から目を離さない取り組みが高く評価されました。